

1756

號 二

紀念簿

關

受領 件名 芳二年之陸上通行準備付品材料ノ取内ノ重要通牒ノ件

大臣

次官

高級副官

主務副官

参事官

決裁



主務局長



主務課長



主務課員



主務局長 由三島四八二号  
明業 七月四日  
明業 七月五日  
大官 六月十八日

長 課 長

者 記 筆 案 審



1757

大石守孝より通指

所備付品果材料ハ取用都量ハ不歩預世ノ通

マシマシ取用ノ通指

陸軍省

満蒙發第九七六

號

六月十日

陸軍省 満蒙發

陸軍省 満蒙支隊第一〇五號

通第二五一二號

南西農務七八七隊内惣志ニ添ハシ  
具材料ハ既ニ貴有臨時現産前  
液分任安東通信所山口網之江  
引渡爲ニシテ其品名致ニ重ク  
重ノ通一ノ有之在陳可ク分在  
度及四九〇也

昭和三十一年六月十三日

通信大臣 方備 貞武



陸軍省 支隊 第一〇五號

1758



1605

圖書

品

目

單件數

量

毛一ルス 械

坐

三

携り帶用試驗器

何

一

口ツチ 避雷器

何

一

雀 嘴

何

六

玄 能

何

二

地 固

何

一

岡 頭

何

一

燒 鑊

何

二

張 線

何

七

金 鍵

何

七

二 吋	六 吋	七 吋	八 吋	二 重	茶 名	腕 木	イ ン ジ ヤ テ バ ー 線	十 ア サ	錫	爪	有 在
釣 釘	磅 鉄 線 貫	真 棒	真 棒	重 り	名 磚 子	木 本	線 碼	油 瓶	燐 貫	敷 枚	拾 廻 挺
一 七 五 目	一 六	七 三 〇	三 一 〇	九 二 五	六 四	九 三 五	二 〇 〇	五	一 九 〇 目	二	二

1760

楯	長	銅	亞	甲	一	十	十	々	ス	塩	甘
四	平	銘	銘	拾	吋	二	吋	・	ト	化	ル
瓶	瓶	板	板	物	釘	真	真	ッ	ラ	亜	ア
り	何	枚	枚	何	貫	棒	棒	カ	ッ	銘	シ
一	一	一	一	二	七	一	一	本	本	磅	貫
二	〇	三	五	四	五	三	六	三	三	〇	五
〇	〇	五	五	〇	〇	〇	〇	六	六	三	五

水	ブリ トシ 檢電 器	馬蹄 磁石	一線用 ヒライ キ	甲種 電鈴	檢轉 換器	ス タン カ ード	篋 形 檢電 器	複 流 電 鍵	海底 電線 七心 水雷 線	百七十 磅 銅線	四百 磅 鐵線
統	丁	〃	〃	〃	何	本	〃	四	海里	〃	貫
三	二	二	二	二	八	二	二	二	四	三〇	一 元 六 角 〇

東京府立総合資料館

毛 一 也 不 不 不 キ	器 械 油	乙 拾 金 物	丹 錠 板	重 錠 板	二 号 一 一 不 乾 電 池	小 穴	大 穴	二 分	三 分 螺 旋 廻	五 吋 下 千	電 槽 小 刀
ノ	瓶	何	ノ	枚	何	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
五 〇	二	二 〇	一 四	一 〇	五 〇	二	二	一	一	一	三



1764



和文電報 受取紙	着送紙	中継紙	和文 朝信紙	配達 紙	着信 紙	宛信 表紙	封印 紙	現字 紙	藍色 紙	黒色 敷写紙	吾械 刷毛
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
二〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇〇	二五〇	一〇〇	三〇〇	二

RESERVED

〃	政	〃	〃	政	〃	〃	政	〃	和	〃	〃
受	文	状	受	文	看	中	文	受	文	状	受
領	進	袋	取	電	送	絶	損	領	進	袋	取
証	徴		証	報	紙	紙	信	証	徴		証
	証			紙			紙		証		
	書								書		
	冊	枚		冊			枚		冊	枚	冊
一	一	一〇〇	一	一	一〇〇〇	三〇〇	一〇〇〇	一	一	二〇〇	一

和文送信料前納証券	枚	五〇
改文	〃	二〇
和文海外送信料前納証券	〃	一〇
改文	〃	一〇
改文海外電報料受取証	冊	一
内国電報料受取証券表	枚	三〇〇
外国電報料	〃	五〇
着信件名表	〃	五〇
發信局所食別表	〃	五〇
着信局所食別表	〃	五〇
類別総計表	〃	二〇
線名	〃	一








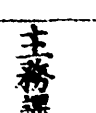


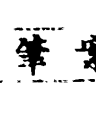


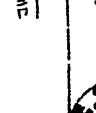

明治三十四年

送信料



892T

人記  
子  
立  
切

大官房	課	務	主	裁	決	大	受
了結	領受	提	領受	裁	決	件	辦
昭治 元年	昭治 元年	昭治 元年	昭治 元年	昭治 元年	昭治 元年	名	領
	昭治 元年	昭治 元年	昭治 元年	昭治 元年	昭治 元年	力三軍上陸上之	陽
長	局	帶	聯	參	事	自	方
						代所	五
長	課	帶	聯	主	務	員	名
						、	無
者	記	筆	案	主	務	材	取
						、	取

大正五年六月三日 陸軍省 第一

陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一  
陸軍省ハハ六月三日 陸軍省 第一

陸軍省 第一

五月十九日



補任

軍工

022T

陸軍省 第一七九號

陸軍省 受領 滿密受第一六〇五 號



五月十七日

第二軍上陸地ニ於ケル海底電

線揚陸點軍用通信所要負等

件 滿密受第七六七號ヲ以テ

御照會之趣了策則要負ハ

左記之通相命シ保管轉換

可致物品ノ品目數名ハ取調

中ニ付追テ可及御通知此取調

及回答候也

明治三十七年五月十六日

逋信大臣大浦兼武



陸軍大臣寺内正毅殿

(左記)

第二軍 兵站 監部 附

ヲ命ス

(五月十六日付)

通信技手 四級

辻基吉

通信属 七級

後屋敷俊

通信手 十白

武藤喜久治

全 一等野戦通信 日塔

小林 巖

二等野戦通信 日塔

垣田兵吉

全 日始 六千銭

藪田友治郎

追テ辻基吉通信技師高等官八等ニ





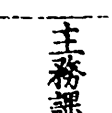
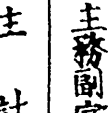
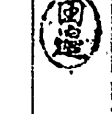
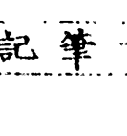
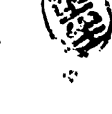
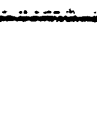



昇任セシムヘキ旨ニ付御承知相成

度此段申添矣



2221

監  
中島の道

大官 明治 年	課長 明治 年	主務局 明治 年 五月 十日	主務局 明治 年 五月 十日	裁決	査 閱	件名	受審 領 正奉 文才 一六五号
長 	局 	帶 	聯 	主務局長 	参事官 	次官 	廳名 正奉 文才 信 一六五号
長 	課 	帶 	聯 	主務課長 	高級副官 	主計 	主務團官 
者 	記 	筆 	案 	審 			

陸  
軍  
省

閱

通信大臣、送付書

東京二宮上陸地ニ於テ海軍電信線揚陸上軍用通信所ノ  
要員名表者所添通信員四名工夫二名ニ之ヲ其二軍  
外通信部ノ要員ト爲シ該通信所備付器具材料  
凡テ尙有、保管転換致度此取及以照會也

送付書  
通信大臣、送付書  
東京二宮上陸地ニ於テ海軍電信線揚陸上軍用通信所ノ  
要員名表者所添通信員四名工夫二名ニ之ヲ其二軍  
外通信部ノ要員ト爲シ該通信所備付器具材料  
凡テ尙有、保管転換致度此取及以照會也

送付書  
通信大臣、送付書  
東京二宮上陸地ニ於テ海軍電信線揚陸上軍用通信所ノ  
要員名表者所添通信員四名工夫二名ニ之ヲ其二軍  
外通信部ノ要員ト爲シ該通信所備付器具材料  
凡テ尙有、保管転換致度此取及以照會也

五月十四日



謀

(軍工)

5221

陸軍省  
受領

滿密受第一七〇五號

大日本陸軍省第八八六號

明治三十七年五月十二日

參謀總長侯爵大山 巖

陸軍大臣寺内正毅殿



田

五月十二日

韓國白翎島ヨリ第二軍上陸地ニ向ヒ敷設セ  
ル海底線揚陸地軍用通信所ノ要負タル通  
信省所属通信員四名工夫二名ハ之ヲ第二軍  
兵站監部ノ要負ト為シ該通信所備付器  
具材料ハ凡テ陸軍所属ト致度候間異存  
無之候ヘハ可然御取計相成度及協議

1775

候也

一ノ本巻



922T

官私發第一八〇八號

本月十六日官私發第一七七九號

ヲ以テ及通牒及過其甚吉左ノ通

任命及此及通牒及也

明治三十七年五月十八日

通信大臣大浦勲武

陸軍大臣寺内正毅殿

通信技師正八位過其甚吉

任通信技師叙高等官八等十二級俸下賜

其二軍兵站監部附ヲ命ス

(五月十八日付)

入受第三三三號

五月十八日

五月十九日

222T  
本書...  
...

賜

5511

通

日

五月十九日

444T

本書人事乃り因付アリタ  
ル作及仕務送ア  
ル事姑等送テテテテテテ  
ル事

二五